



**2015年9月期 第1四半期
決算説明資料**

-  1 2015年度9月期の成長戦略
-  2 第1四半期連結決算の概要
-  3 第1四半期の事業別レビュー
-  4 2015年度9月期 通期業績予想
-  5 参考資料

1

2015年度9月期の成長戦略

代表取締役社長 兼 グループCEO 直井聖太

A light blue world map serves as the background for the title text.

クロスボーダー事業で 圧倒的 No.1

クロスボーダー事業で圧倒的 No.1

Eコマース事業



海外転送・代理購入圧倒的No.1



米国拠点強化



ネット宅配買取圧倒的No.1＋海外販路の強化



自社ライセンスの強化＋海外販売の開始



スマートフォン＋自社商品の強化

インキュベーション事業



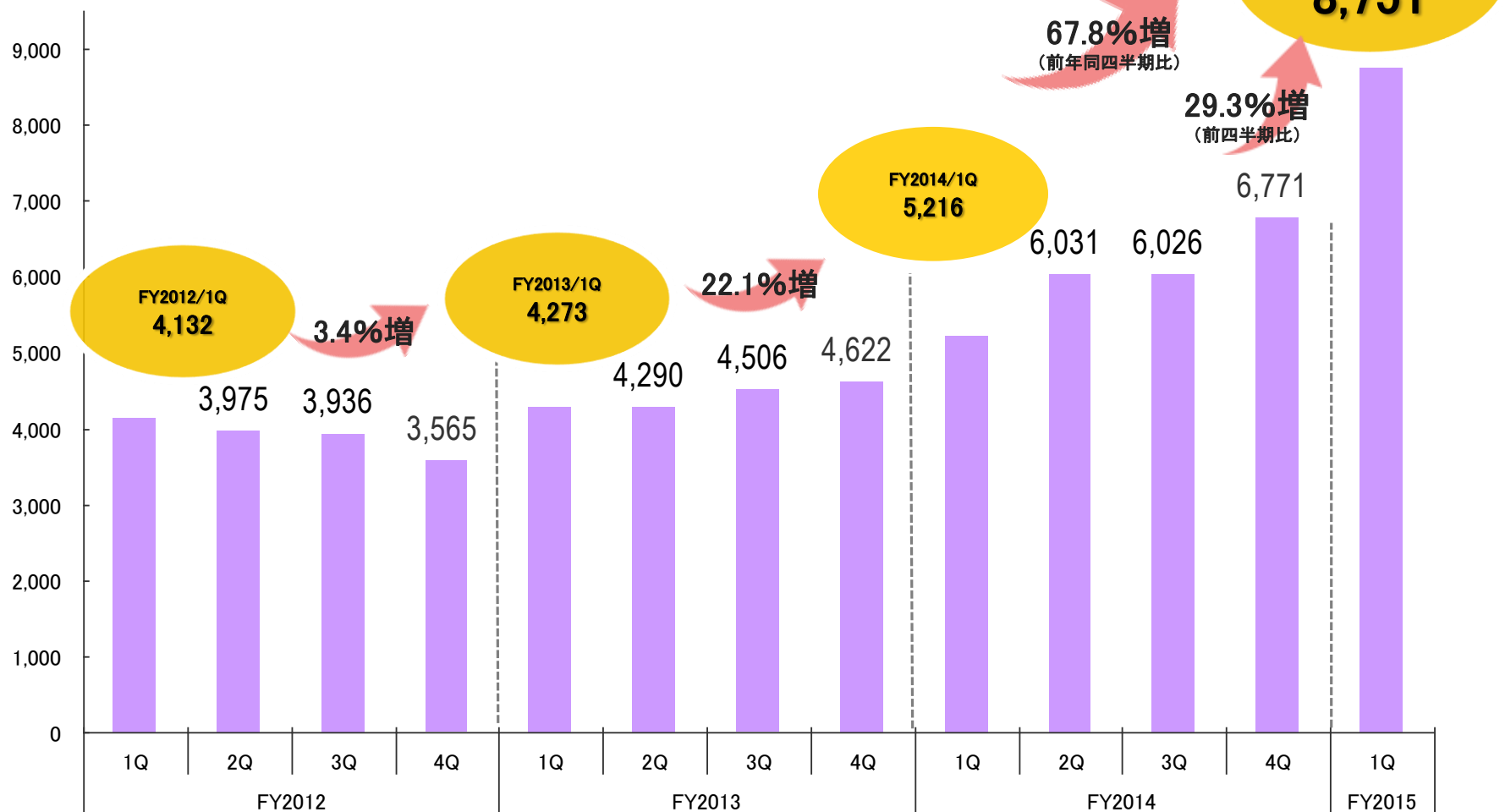
新興国（ネクストチャイナ）での投資育成

2

第1四半期連結決算の概要

連結流通総額の推移(四半期)

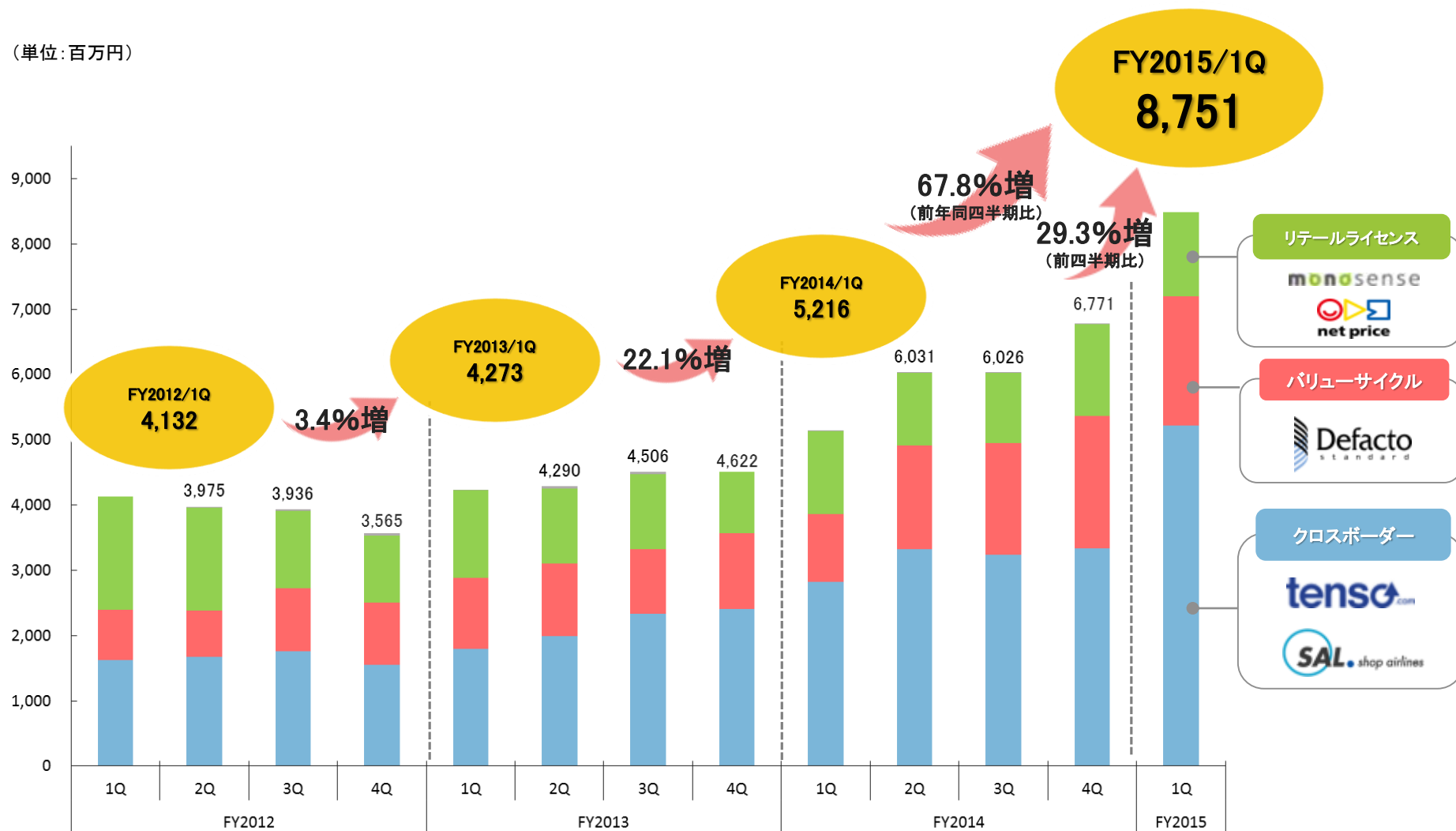
(単位: 百万円)



※グループ各社のインターネット経由の流通総額を合算したものです。商品プロデュース・ライセンス事業でのライセンス販売や卸売、イベント会場での販売等、インターネット以外での販売は含んでおりません。

事業別流通総額の推移(四半期)

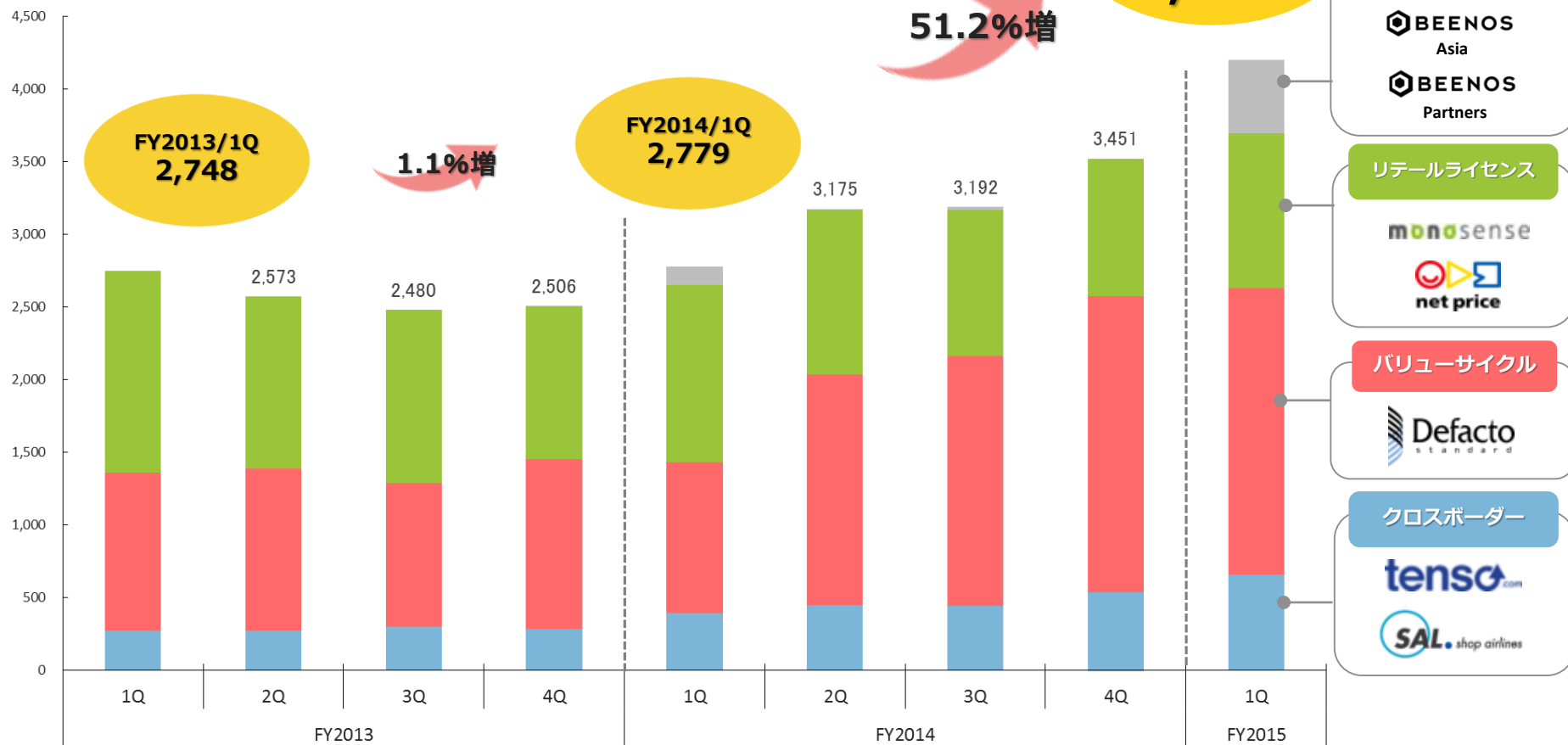
(単位: 百万円)



※グループ各社のインターネット経由の流通総額を合算したものです。商品プロデュース・ライセンス事業でのライセンス販売や卸売、イベント会場での販売等、インターネット以外での販売は含んでおりません。

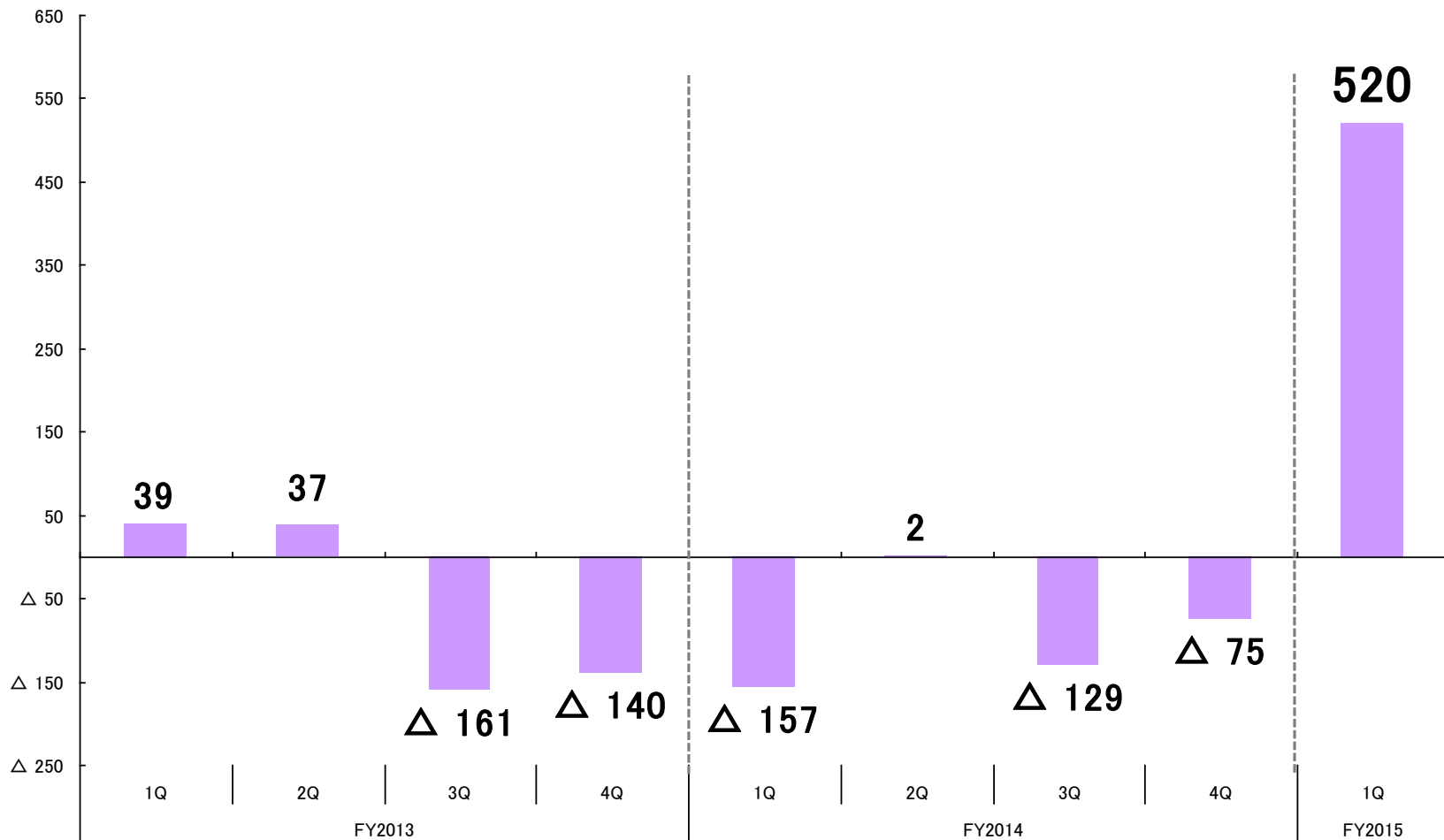
連結売上高の推移(四半期)

(単位: 百万円)



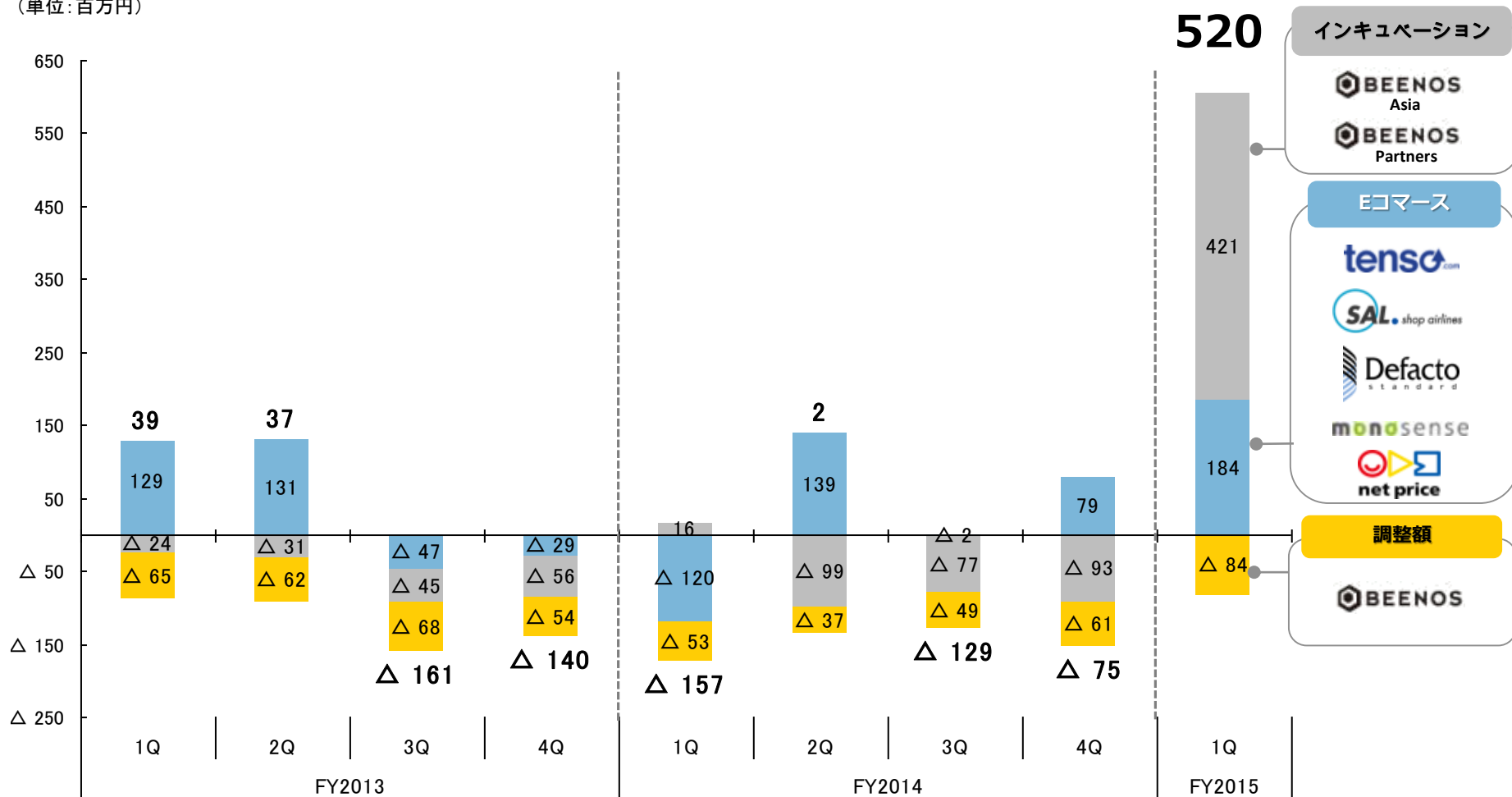
連結営業利益の推移(四半期)

(単位: 百万円)



連結営業利益の推移(四半期)

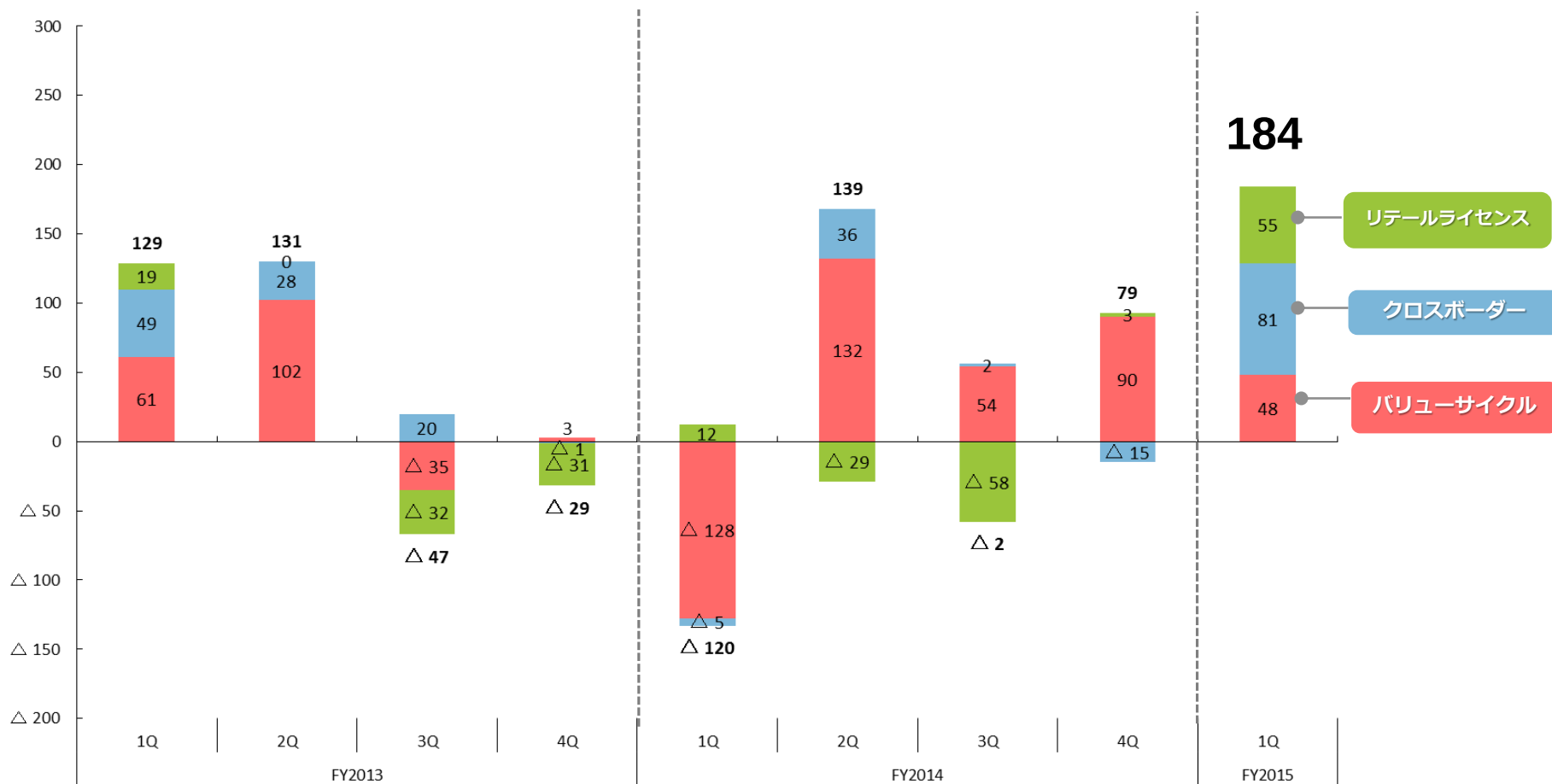
(単位: 百万円)



調整額にはセグメント間取引の消去、各報告セグメントに分配していない全社収益及び全社費用が含まれております。
 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。
 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2 【Eコマース事業】営業利益の推移(四半期)

(単位:百万円)



連結：損益の概況（前四半期比）

単位：百万円	1Q/2015 (10-12)	4Q/2014 (7-9)	前四半期比
売上高	4,201	3,451	+21.7%
売上総利益	2,263	1,674	+35.2%
売上総利益率	53.9%	48.5%	+5.4p
販売費及び一般管理費	1,742	1,749	△ 0.3%
販管费率	41.5%	48.0%	△ 9.2p
営業利益	520	△75	-
営業利益率	12.4%	△ 2.19%	+14.6p
営業外収益	1	5	△ 69.4%
営業外費用	12	42	△ 70.7%
経常利益	510	△112	-
経常利益率	12.2%	△ 3.2%	+2.5p
特別利益	25	1	-
特別損失	0	30	△ 98.0%
四半期純利益	385	△182	-
四半期純利益率	9.1%	△5.3%	+14.5p

子会社事務所移転に伴う
資産除去債務戻入益
25百万

連結：資産・負債の概況（前四半期比）

単位：百万円	FY2015/1Q	FY2014/4Q	前四半期比
流動資産	7,437	6,692	745
現預金	2,659	2,457	201
売掛金	765	525	239
営業投資有価証券	1,656	1,563	93
商品	972	844	127
固定資産	1,064	1,014	50
有形固定資産	66	72	△5
無形固定資産	346	281	64
投資等	652	660	△8
流動負債	3,352	3,078	273
買掛金	412	301	110
短期借入金	1,069	1,004	64
1年以内返済予定長期借入金	20	20	0
固定負債	69	69	0
長期借入金	10	10	0
純資産	5,080	4,557	522
総資産	8,502	7,706	796

主には為替換算による影響

バリューサイクル事業の
買取在庫

3

第1四半期の事業別レビュー



海外転送・代理購入事業



FROM JAPAN

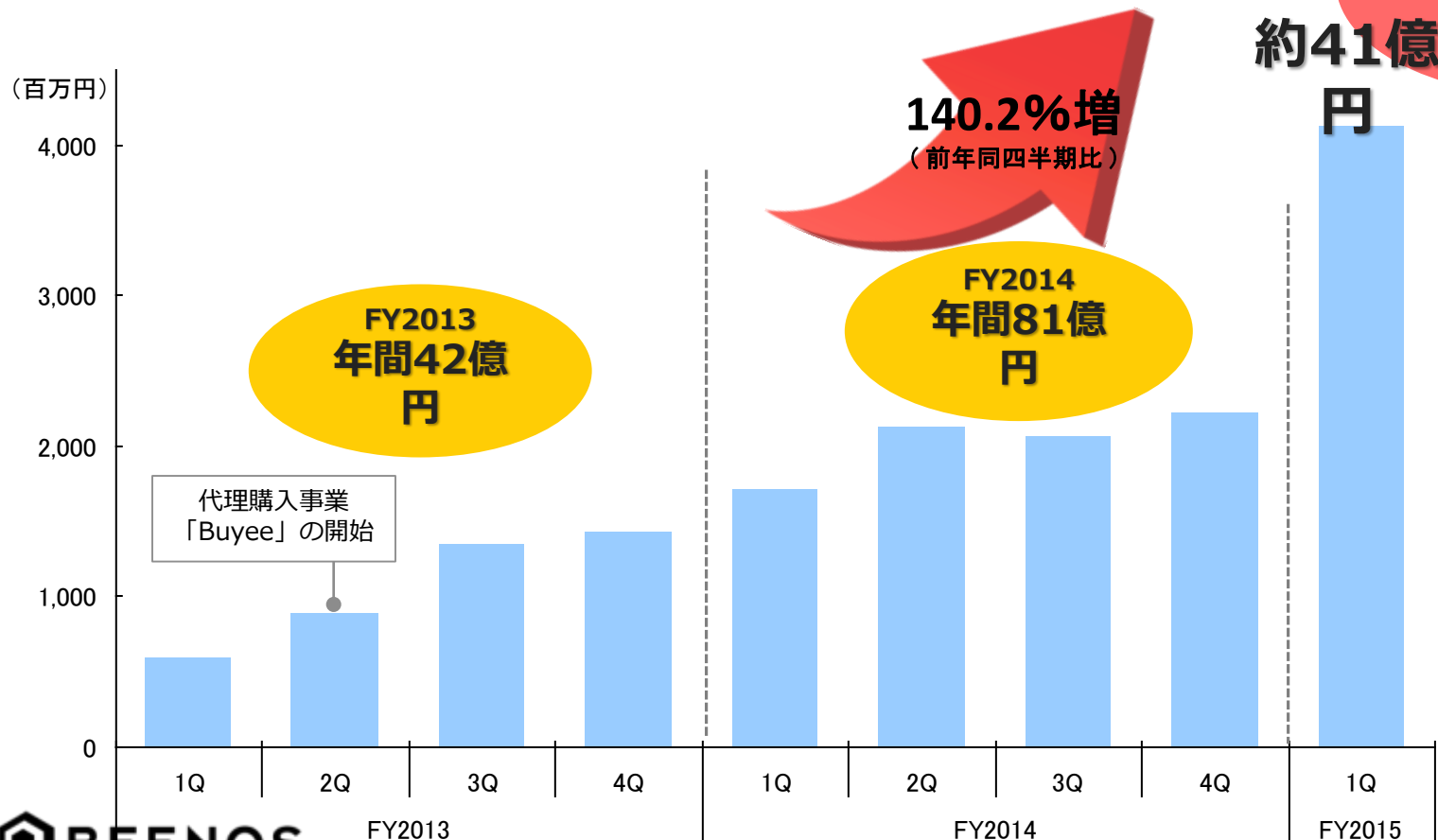
流通総額の推移



～FROM JAPAN～

◆円安、インバウンド消費が追い風となり、
また、手数料の改定や船便、エコノミー航空(SAL)便など配送手段を
多様化したことによるユーザビリティの向上も奏功し、流通総額が拡大。

FY2015 (計画)
年間150億
円以上

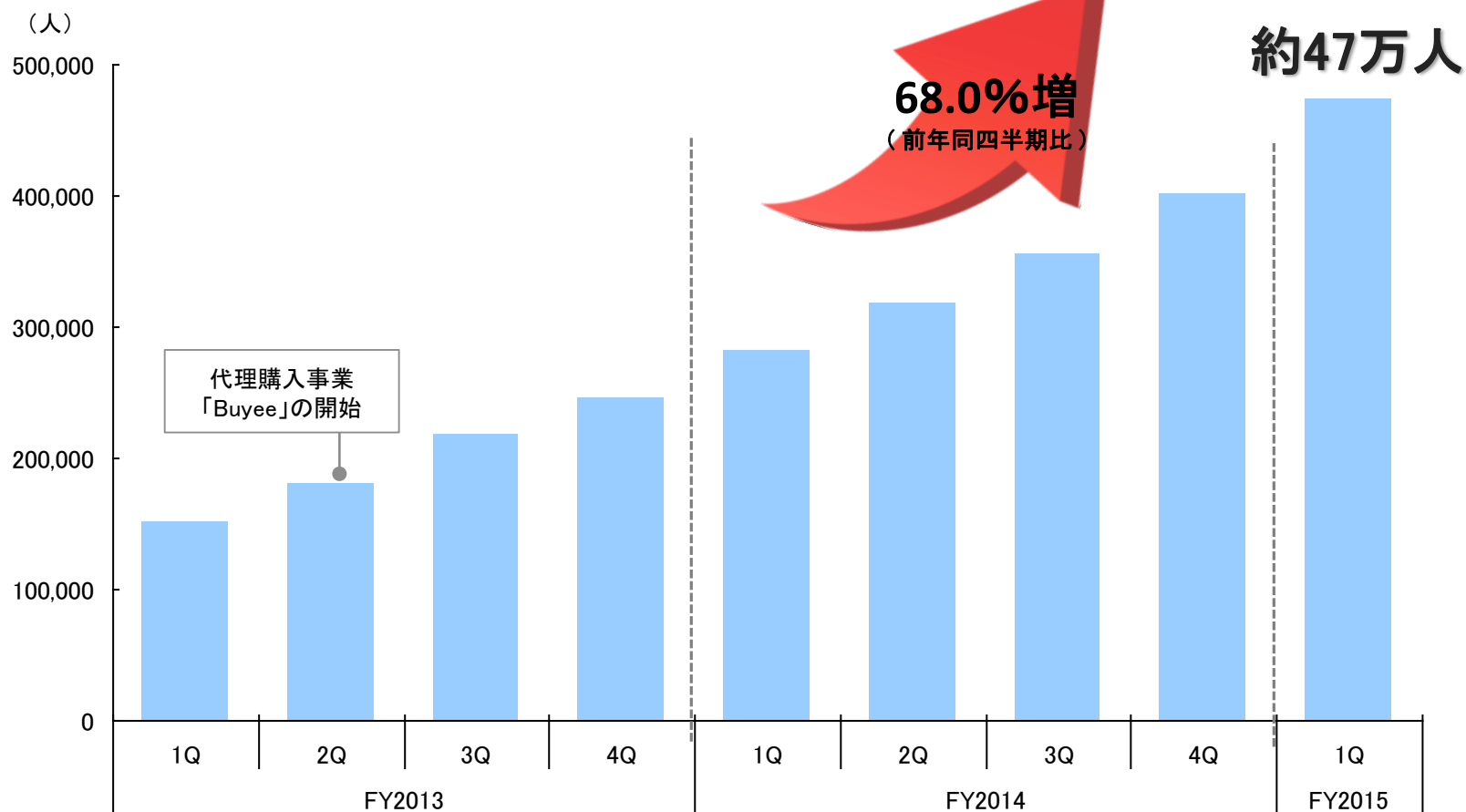


会員数の推移



～FROM JAPAN～

◆特に東アジア地域における会員数が増加



訪日外国人の増加/インバウンド消費の拡大

◆2014年の訪日外国人客、29%増の1341万人
過去最高を更新。

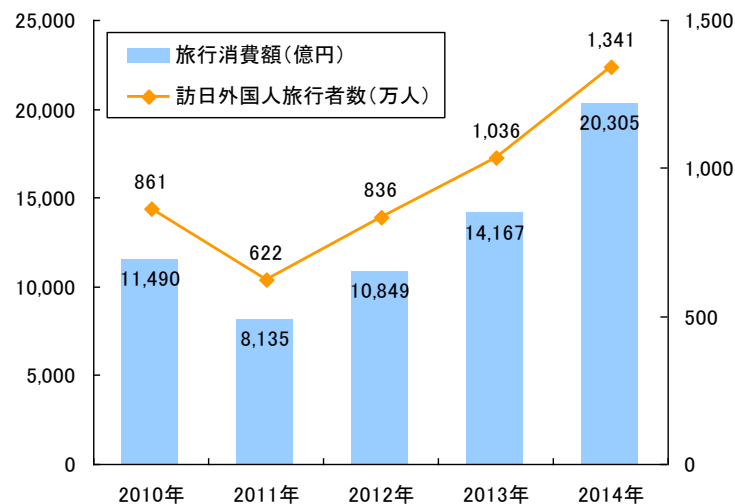
免税品目の対象の拡充、
観光ビザの免除・緩和などの影響により、
東南アジアからの訪日客も大幅に増加。

円安傾向

◆円安により海外からの消費が促進。

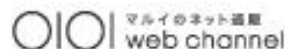
訪日客が旅行中の買い物などで使ったお金が推計で
43.3%増の2兆305億円となり、初めて2兆円を超えた。
(参考:観光庁による訪日外国人消費動向調査)

▼ 旅行消費額と訪日外国人旅行者数の推移



*観光庁2015年1月20日発表
2014年訪日外国人消費動向調査による

国内連携サイト500以上



など

◆ 転送コムの主な導入理由

- ・利用料無料
- ・導入が簡単(転送コム発行の配送バナーをECサイトに貼るのみ)
- ・クレジットなどの不正利用検知システムを独自に開発
- ・世界84の国と地域に発送実績あり
- ・5言語対応のカスタマーサポート

※5言語(日・英・韓・繁体字・簡体字)に対応のバナーを用意。

海外のみなさん 海外発送はこちら tensco.com

International customers Click here for overseas shipping tensco.com

親愛的海外用戶 如蒙海外發貨請按此 tensco.com

敬愛的海外客戶 想要海外發貨請点这里 tensco.com

해외에 계시는 여러분께 해외발송은 여기서 tensco.com

▲ 転送コムの 配送バナー

料金の改定 & 新物流手段の追加(2014年11月～)



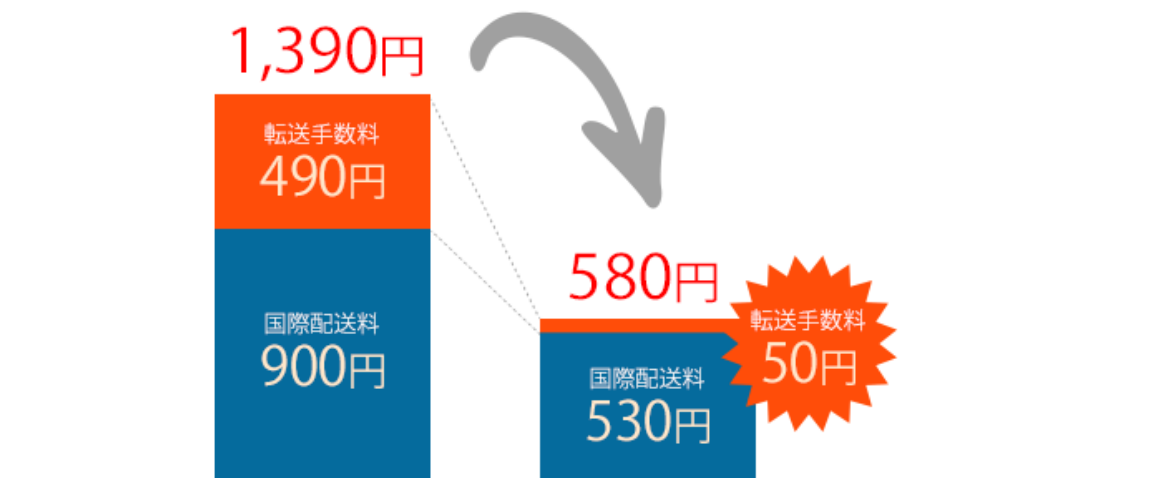
◆転送コム事業の転送手数料の引き下げを実施。転送手数料最低料金が490円から50円にダウン。

ひとつの発送で最低ご利用料金 **580円**

※50gの荷物をアジアにAIR/小形包装物で送った場合

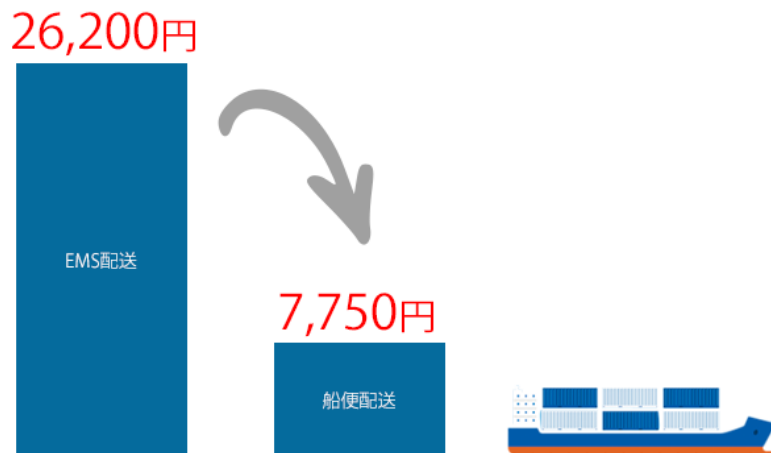
今までの転送コムの最低料金1,390円から

810円ダウン

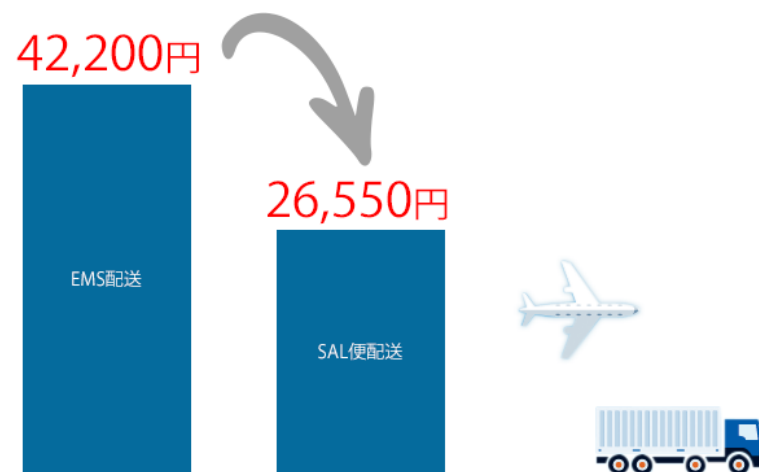


◆船便、エコノミー航空(SAL)便の対応を開始。
EMS、航空便、SAL便、船便から選ぶことができる。

アジア30kgの荷物の場合、
SAL便はEMSと比べて配送料が
70%以上ダウン



ヨーロッパ30kgの荷物の場合、
SAL便はEMSと比べて配送料が
37%以上ダウン



世界中に「何が」「いくらで」「どの国の」「どんな人に」売れているのかを正確に把握している日本で唯一の企業

◆配送国順の売れ筋ジャンル(2014年1月～12月)

1位 中国

1.家電、AV、カメラ	23.6%
2.アンティーク、コレクション	23.1%
3.ファッション	10.5%

2位 香港

1.おもちゃ、ゲーム	31.6%
2.ファッション	15.1%
3.家電、AV、カメラ	12.1%

3位 台湾

1.食品、飲料	22.4%
2.アンティーク、コレクション	14.1%
3.おもちゃ、ゲーム	14.0%

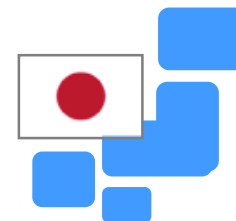
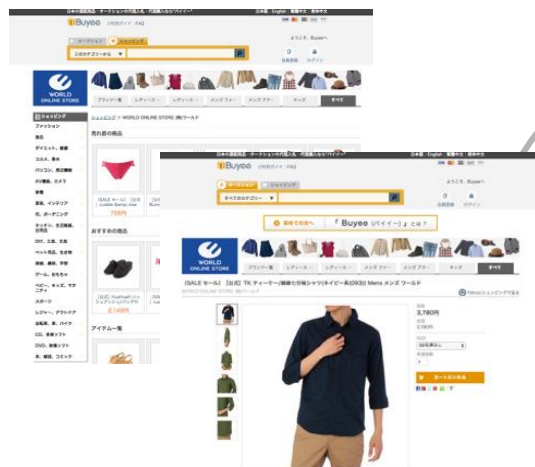
4位 アメリカ

1.おもちゃ、ゲーム	23.5%
2.ファッション	19.7%
3.食品、飲料	9.2%

インバウンド消費(オフライン)を クロスボーダーEC(オンライン)につなげる 新たな取り組みを開始予定

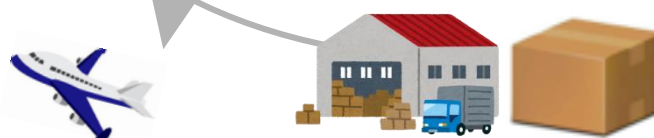
海外

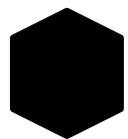
日本



クロスボーダーEC

インバウンド消費





その他のEコマース事業の状況



グローバルショッピング事業



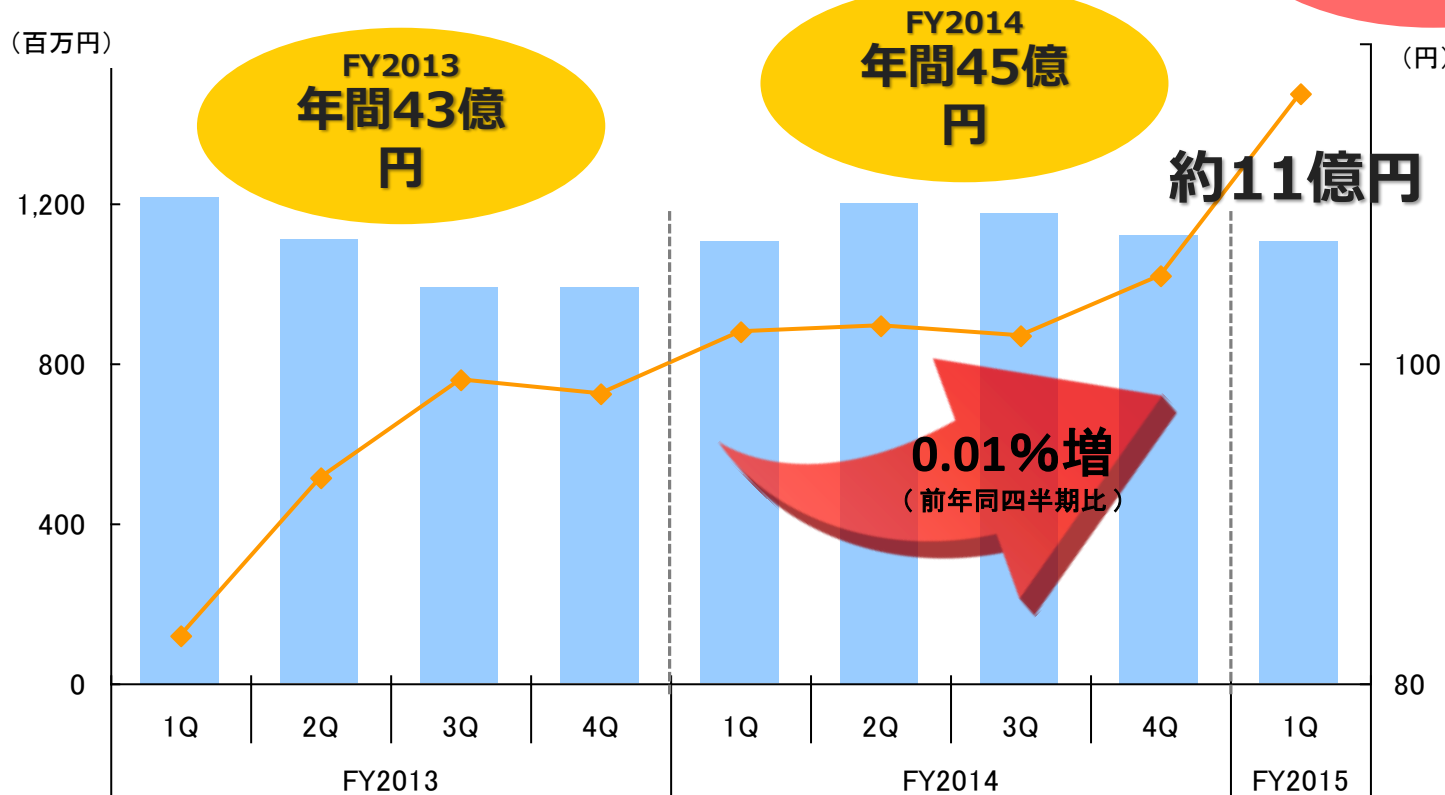
TO JAPAN

流通総額の推移

～TO JAPAN～

◆円安の進行による影響を受けるも、流通総額は横ばい

■ 流通総額
◆ 為替レート(\$/¥)



米国拠点を内製化し強化

～TO JAPAN～



為替の影響に左右されないサービス改善を促進

- ◆ 現在価格を円建て表示にし、ライトユーザーの広がりを図る(1月26日～)
- ◆ スマートフォンの取り組みを強化し、スマートフォンチャネルでの集客を増強



ブランド品宅配買取事業

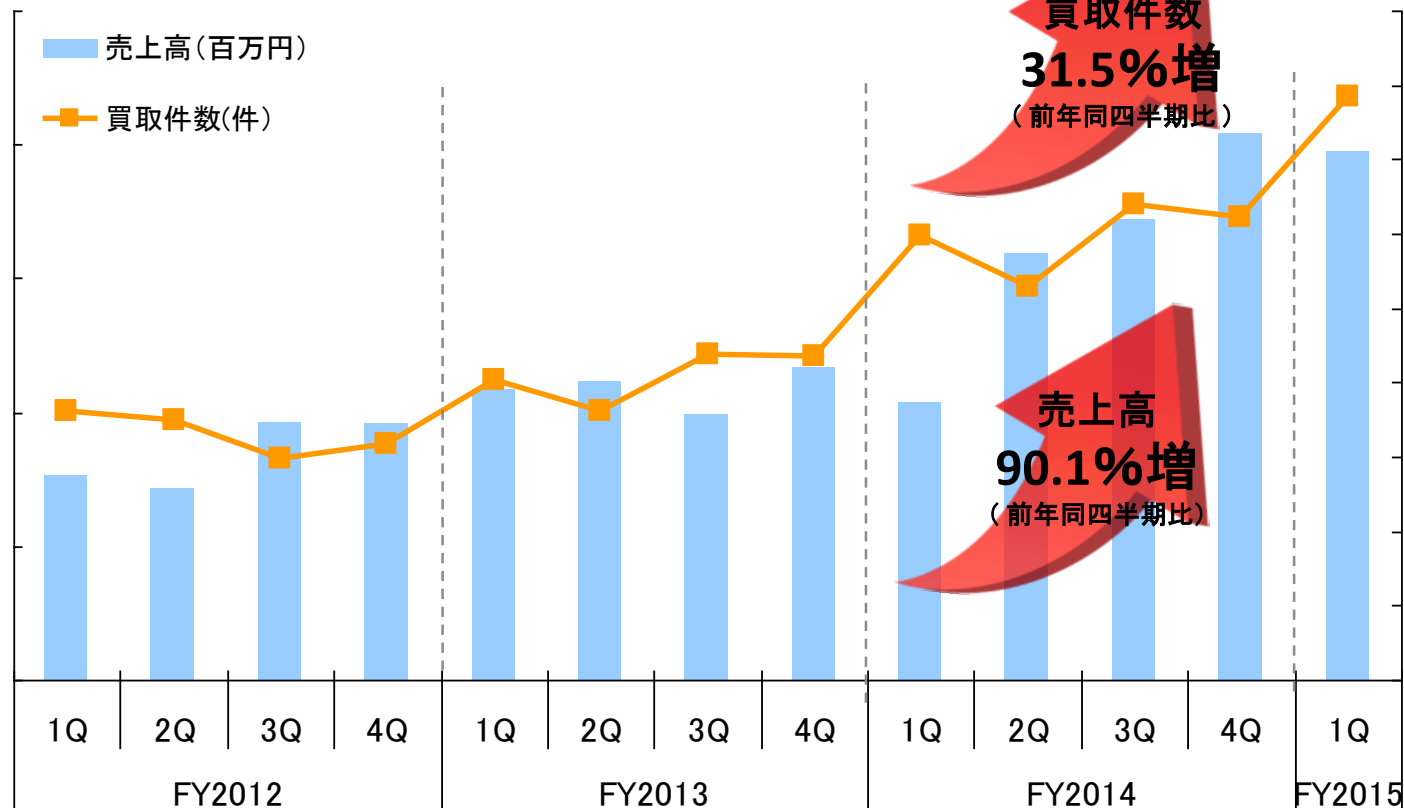


USED in JAPAN

売上高・買取件数の推移

◆買取の強化・販売フロー増強

テレビCM投下等による認知度向上、海外販路の強化。



中古品EC売上ランキング1位を獲得(FY2014)

*日本ネット経済新聞調べ

中古品EC売上高ランキング(2014年調査)によると、前回調査で2位だったデファクトスタンダードが首位に。

第2回 中古品EC売上高ランキング(2014調査)

順位	会社名	中古品 EC売上 (百万円)	増減率 (%)	決算月	主な取扱商材	所在地
1	デファクトスタンダード	6,387	46.4	9月	アパレル	東京
2	コメ兵	5,600	24.0	3月	ブランド品	愛知
3	ブックオフオンライン	4,623	24.5	3月	本、CD・DVD、ゲーム	神奈川
4	エーツー	※ 4,400	—	8月	CD・DVD、ゲーム	静岡
5	シュッピン	※ 4,100	—	3月	カメラ、時計	東京
6	キタムラ	3,165	20.0	3月	カメラ用品	神奈川
7	ソフマップ	※ 3,000	—	8月	パソコン	東京
8	マーケットエンタープライズ	2,940	51.0	6月	総合	東京
9	リネットジャパングループ	※ 2,840	—	9月	本、CD・DVD、ゲーム	愛知
10	クラウンジュエル	2,300	155.0	3月	アパレル	東京
11	エコリング	2,000	15.0	9月	ブランド品	兵庫

2014年12月4日発表

13年10月～14年9月の間に迎えた決算の実績値を対象。

リサイクルチェーンのネット部門や、中古品EC事業者などに対して調査を実施。

海外販売の強化

～USED in JAPAN～

買取提携・連携

YAHOO! 買取
JAPAN

楽R天 買取サービス

dinos

東急ベル
ホーム・コンビニエンスサービス

生活協同組合コープしが

waja

YAMADA

永久不滅.com

ブランドン
Brandear®

販売提携・連携

国内

ヤフオク!

5年連続
ベストストア受賞楽R天
オークション2014年7月より
追加楽R天
ICHIBA楽天ショップ・
オブ・ザ・イヤー2014
特別賞
「CSR賞」を受賞

モバオク!

海外



monosense

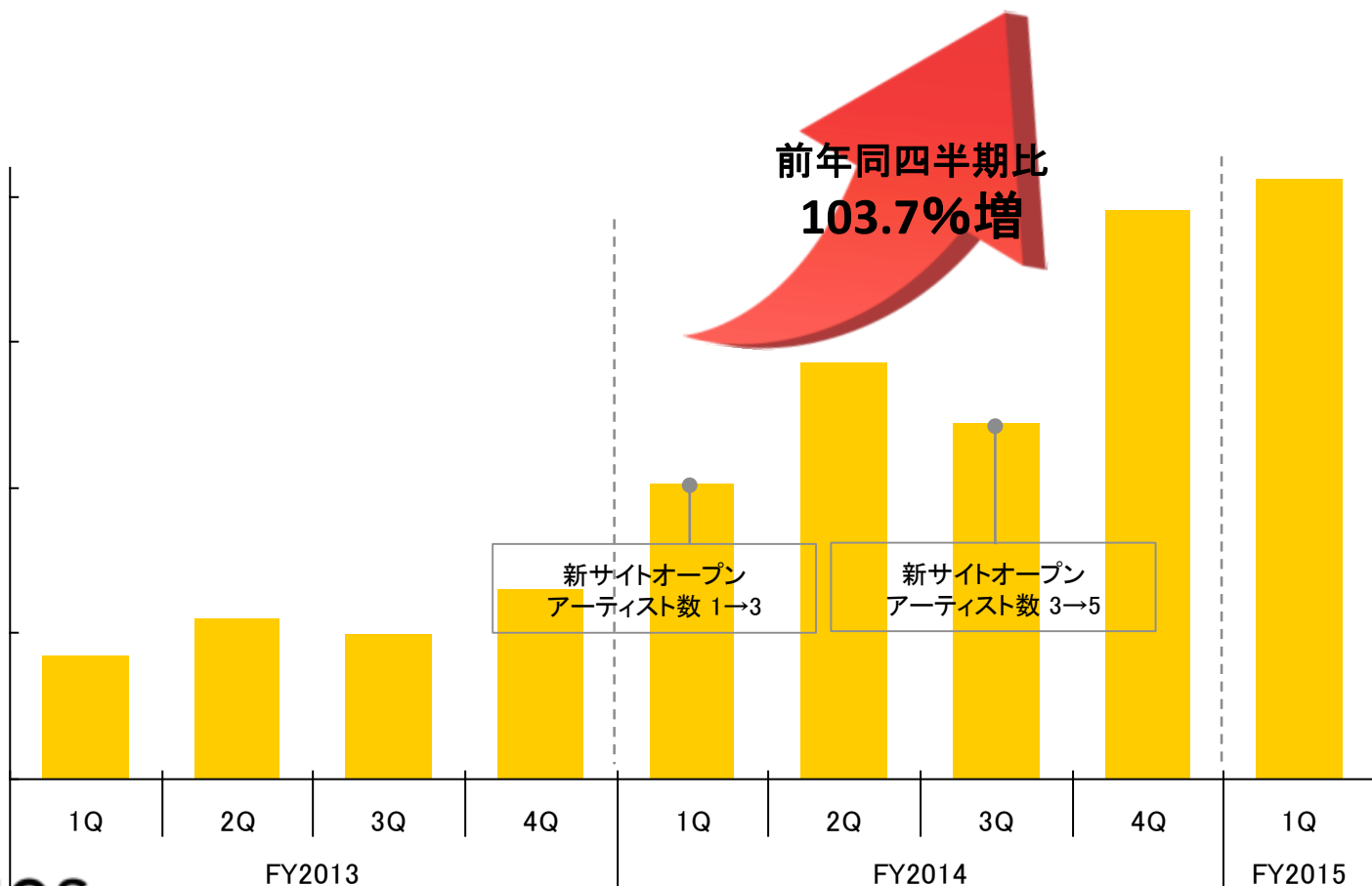
商品プロデュース・ライセンス事業

COOL JAPAN

売上高の推移

～COOL JAPAN～

◆アーティストグッズEC販売の堅調な推移と
リアル販売や人気卸商品の受注増加により、前年同四半期比103.7%増収



アーティストグッズの年末イベントでの販売施策強化等により12月の流通総額、売上高が過去最高額

～COOL JAPAN～

人気アーティストグループの 公式グッズを販売サイトやライブ会場にて販売

▼完全受注生産、ECオリジナル商品の企画・販売も。



▼コンサート物販



イラストレーター「ECONECO」 ライセンス商品の催事(丸井 京都店)



タレント・アニメキャラクターとの コラボ商品を新規リリース

▼人気アーティストオリジナルグッズ一例





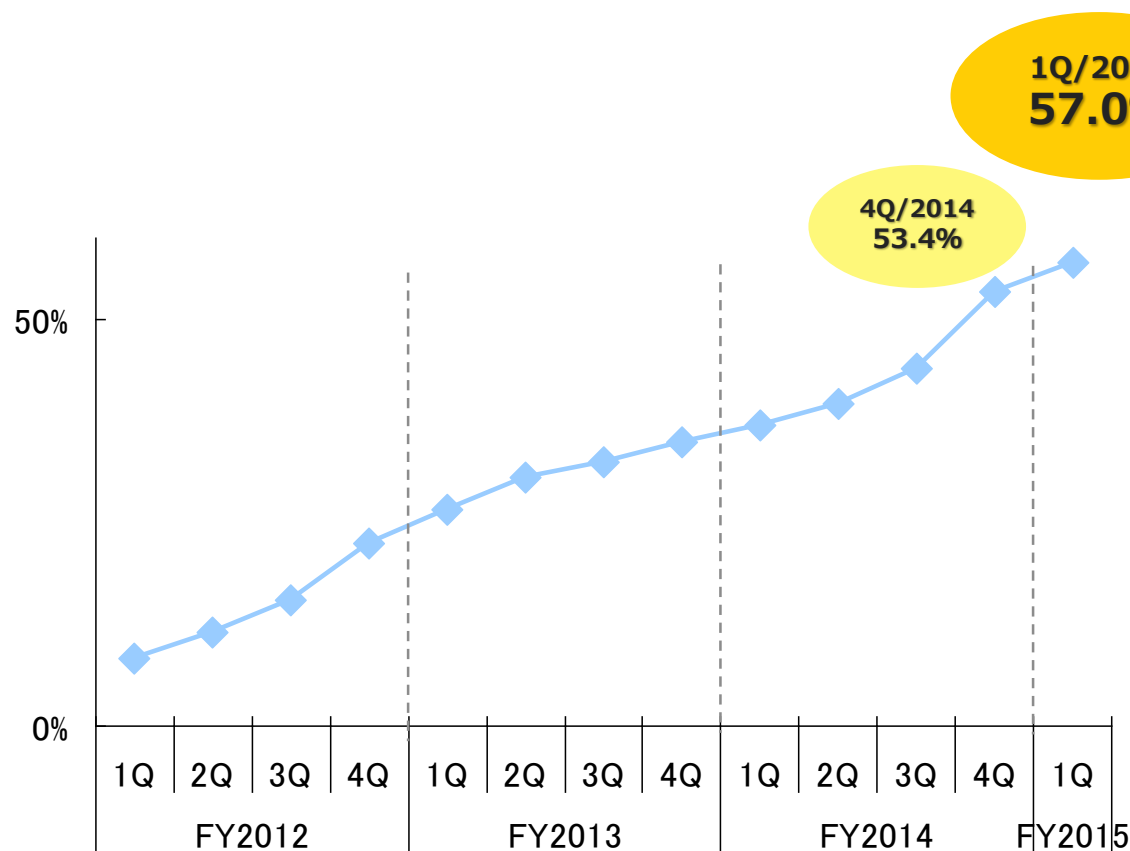
net price

ネットショッピング事業

MADE in JAPAN

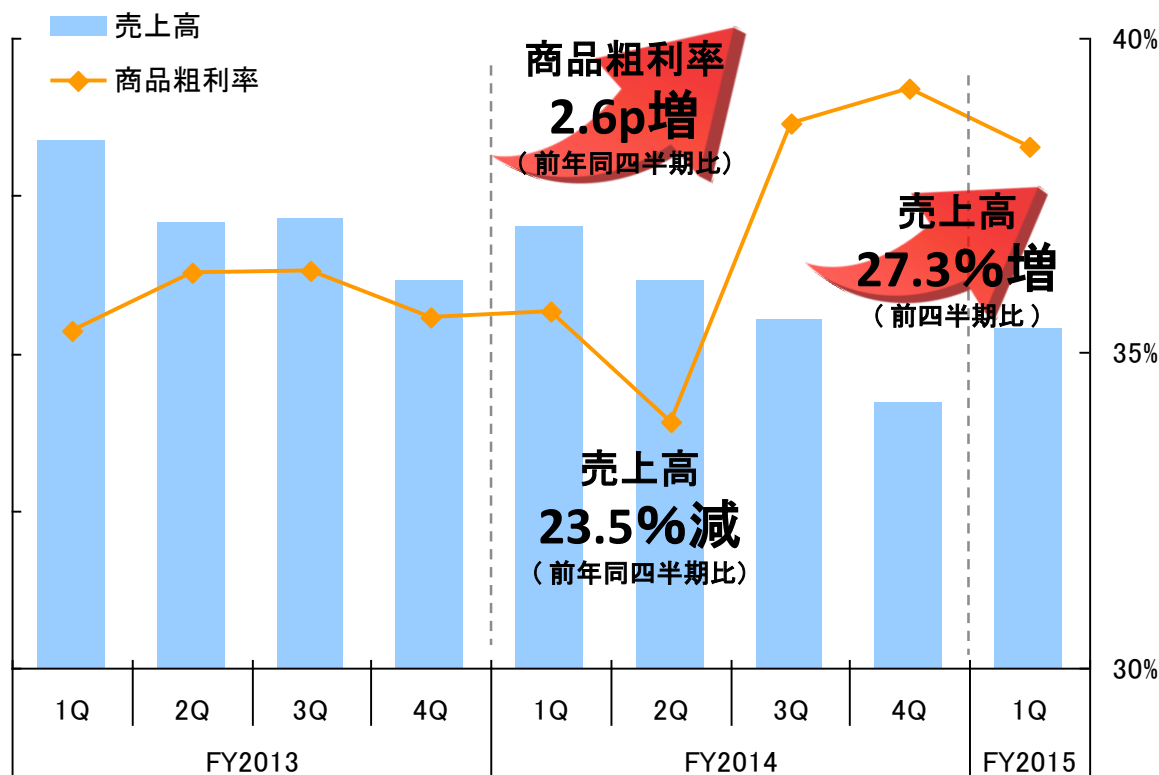
スマートフォン売上比率の推移

◆スマートフォン売上高の拡大



売上高と商品粗利率の推移

◆売上高の復調、オリジナル商品強化により商品粗利率の回復を図る



国内限定販売の
美容グッズ



高品質で低価格な
ファッション



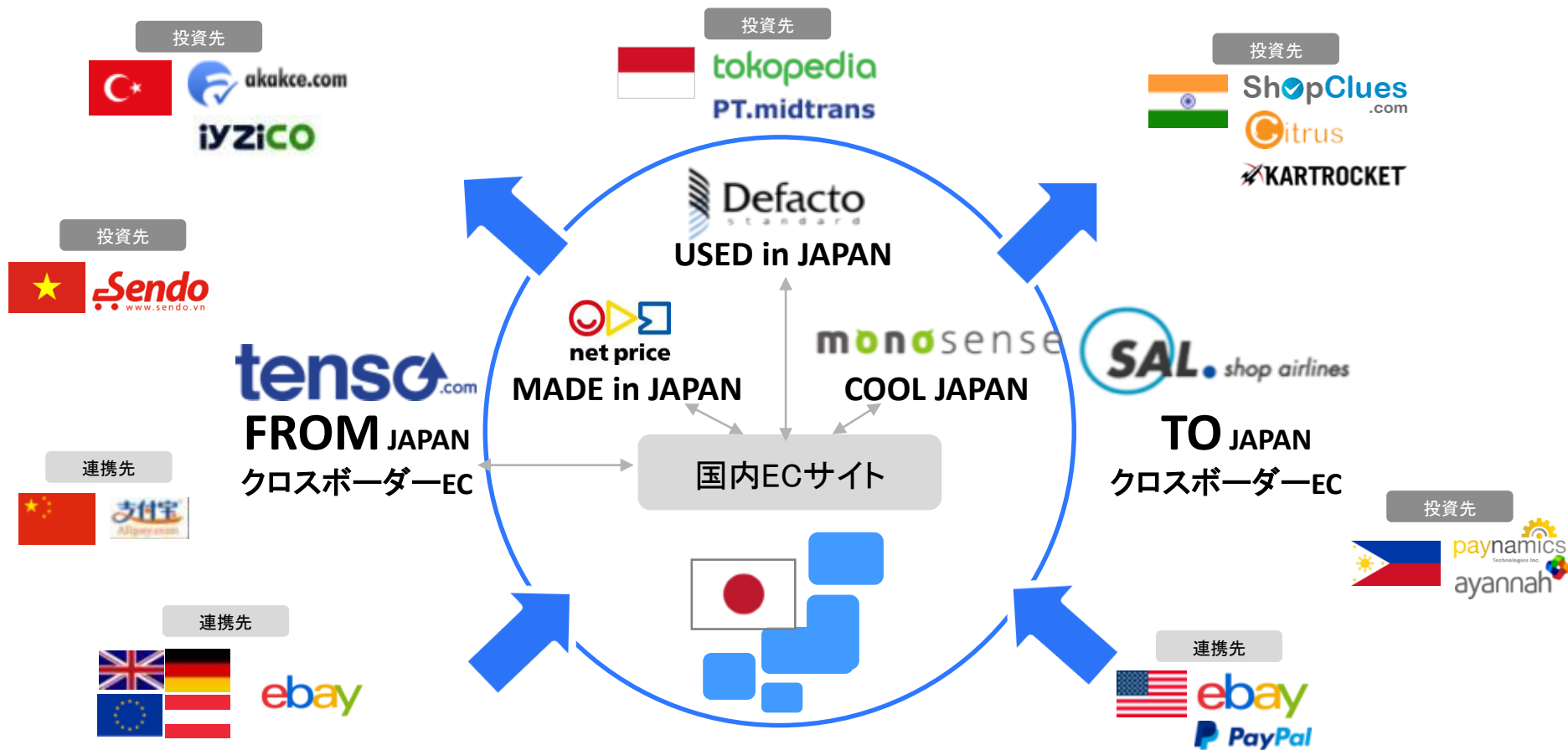
トレンドを取り入れた
美容サプリメント

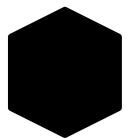


日本伝統工芸技術を
活かした生活雑貨



日本と世界をつなぐ圧倒的 No.1に





海外事業の概況

代表取締役副社長 兼 グループCFO 中村浩二

ネクストチャイナ(次の中国)を見据えた投資



10%以上



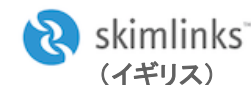
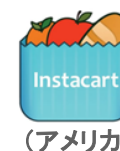
5~10%



1~5%



1%未満





初期の投資先が立ち上げ期から成長ステージに

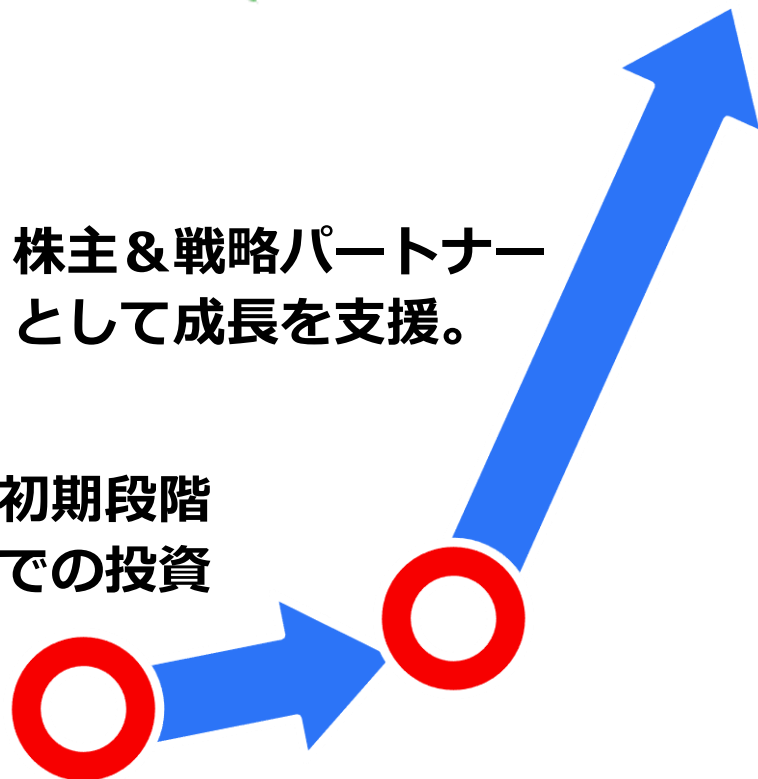
2014年10月22日発表

「Tokopedia」が、
SoftBank Internet and Media 、
セコイアキャピタル等から、
1億ドル（100億円）の資金調達。
当社保有株式一部譲渡により、
約4億円の株式譲渡益発生。

tokopedia

株主&戦略パートナー
として成長を支援。

初期段階
での投資



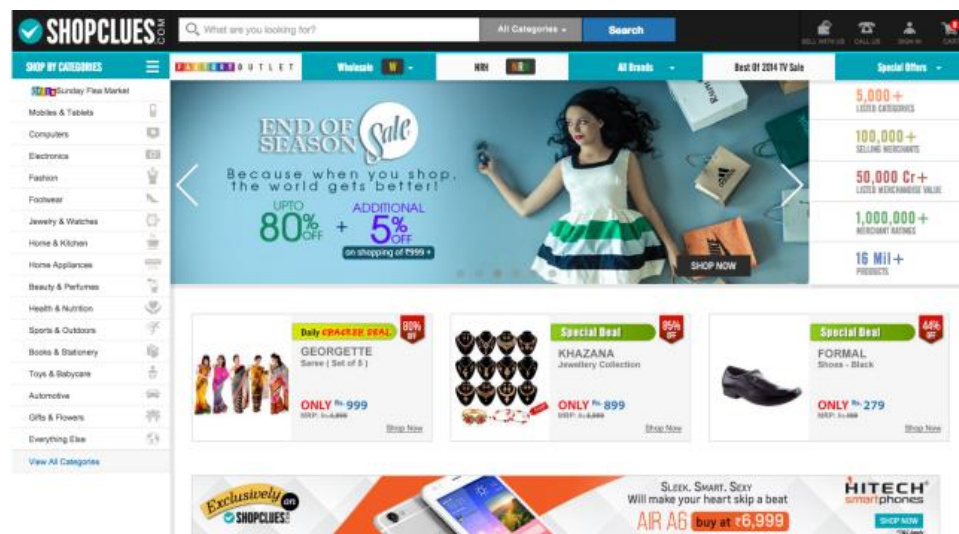
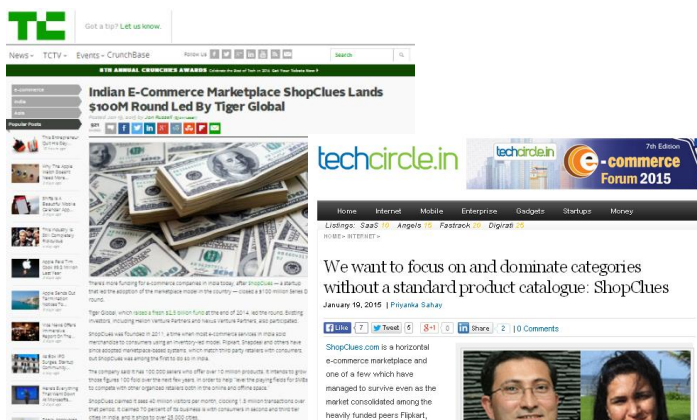


インド企業初の投資先が大型資金調達とともに成長ステージへ

2015年1月21日発表

「ShopClues」が、
米国大手ファンドのTiger Global 等から
1億米ドル(約117億円)の資金調達。

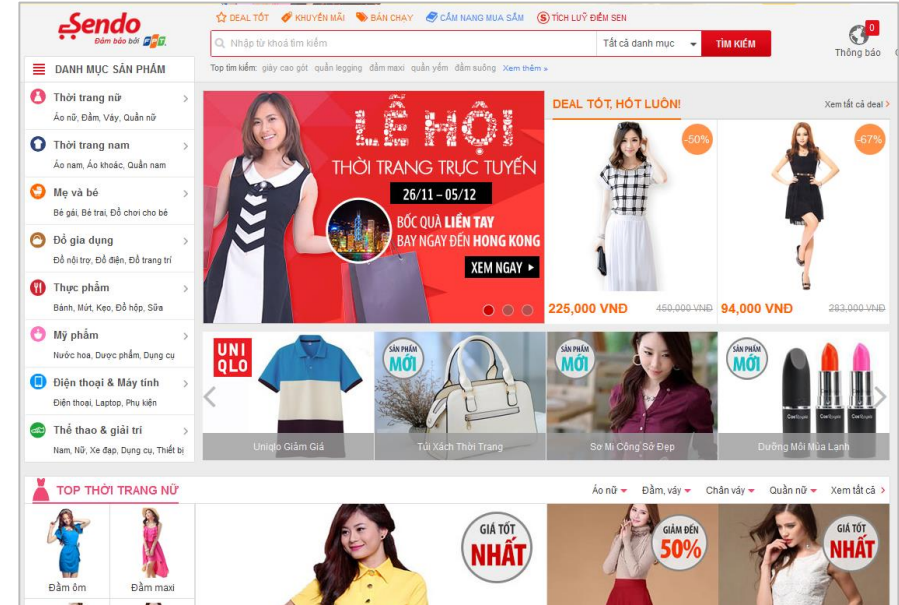
ShopClues.com



ベトナム企業への当社初の投資

2014年12月5日発表

ベトナム最大のIT企業、FPT社の関連企業、
マーケットプレイスを展開する「Sendo」に
SBIホールディングス、econtext ASIAと共同で
出資、合併事業化。





フィリピンのオンラインペイメント領域への投資

2015年1月21日発表

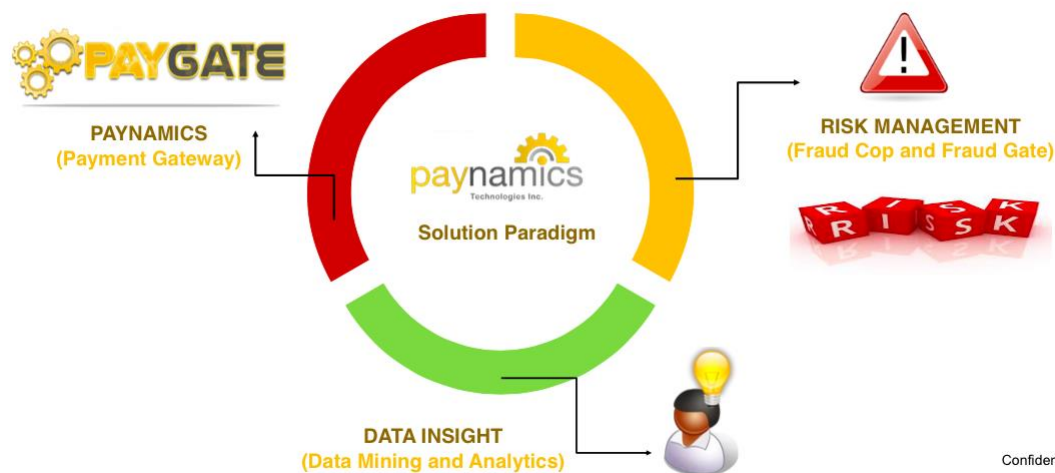
フィリピン大手のオンライン決済プラットフォーム事業会社「Paynamics」に出資。

Paynamicsの特長

- ・フィリピン国内の各金融機関との連携
- ・ビッグデータをもとにした不正検知システム
- ・国内外での事業実績

クライアント一例

- ・国内大手の通販企業
- ・航空会社
- ・ホテル
- ・保険会社など



4

2015年度9月期 通期業績予想

4 2015年度9月期 業績予想

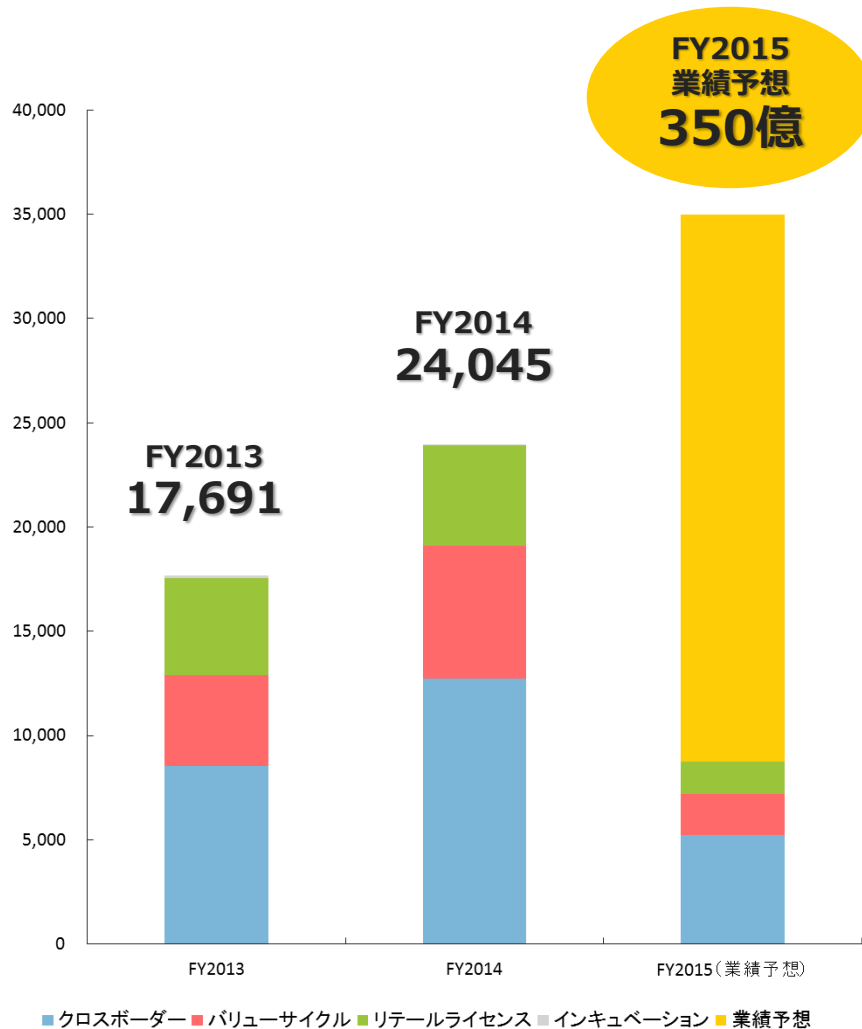
(百万円)	FY2014 実績					FY2015		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q (実績)	通期 (業績予想)	進捗率
流通総額	5,216	6,031	6,026	6,771	24,045	8,751	35,000	25%
売上高	2,779	3,175	3,192	3,451	12,599	4,201	17,000	25%
営業利益	△157	2	△129	△75	△358	520	600	87%
経常利益	△128	△6	△120	△112	△367	510	570	89%
四半期純利益	△18	△100	△149	△182	△450	385	330	117%

※業績予想公表期間の変更について

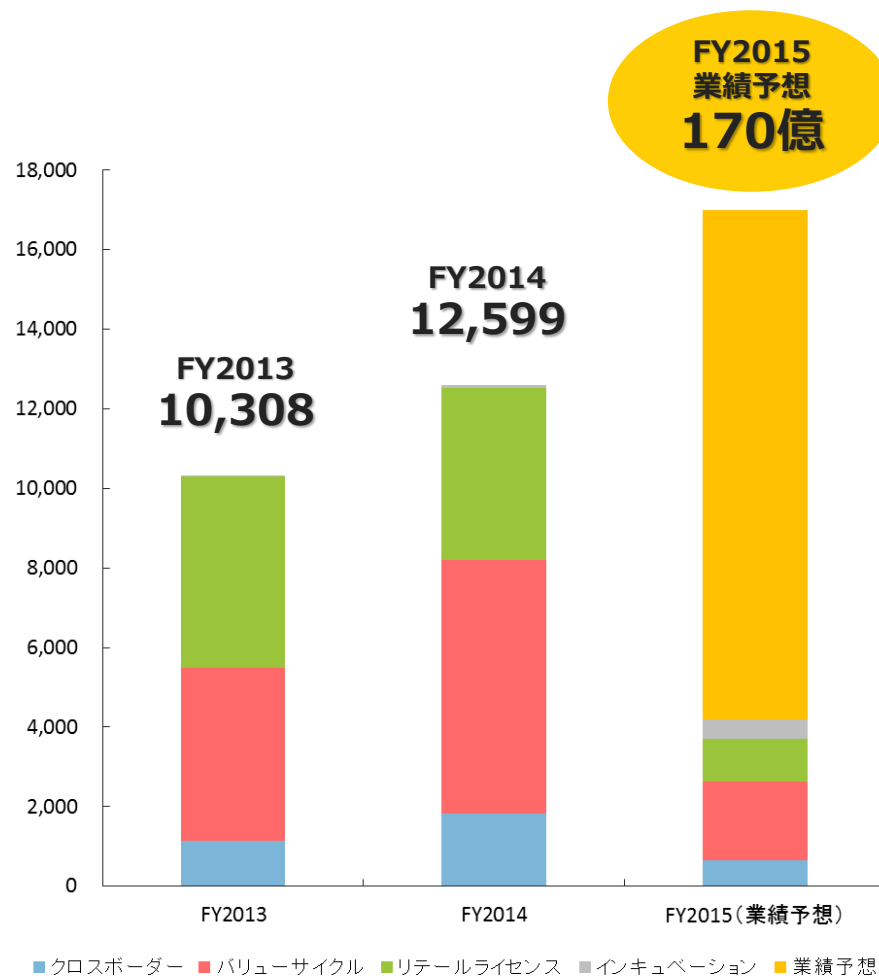
業績予想につきましては、従来、四半期ごとに翌四半期の業績見通しを公表する方法をとっておりましたが、四半期単位では、費用発生の期ずれ等により、業績見通しと実績との間に頻繁に差異が発生する結果となっておりました。

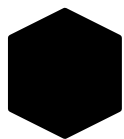
そのため当期から通期の業績見通しを公表する方法に変更し、実際の業績見通しが、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性がある場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

流通総額



売上高





まとめ

A light blue world map serves as the background for the central text. The map shows the outlines of continents and countries in a darker shade of blue.

クロスボーダー事業で 圧倒的 No.1

クロスボーダー事業で圧倒的 No.1

Eコマース事業



海外転送・代理購入圧倒的No.1



米国拠点強化



ネット宅配買取圧倒的No.1＋海外販路の強化



自社ライセンスの強化＋海外販売の開始



スマートフォン＋自社商品の強化

インキュベーション事業



新興国(ネクストチャイナ)での投資育成



参考資料

Eコマース事業：部門別売上高・営業利益の推移

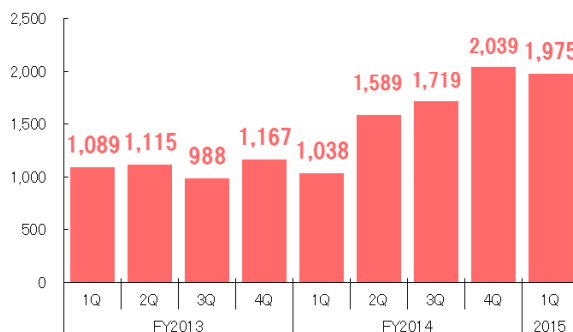
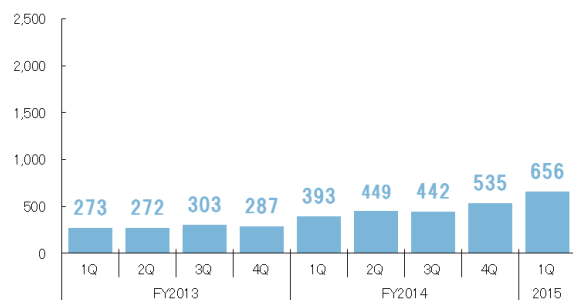
《クロスボーダー部門》

《バリューサイクル部門》

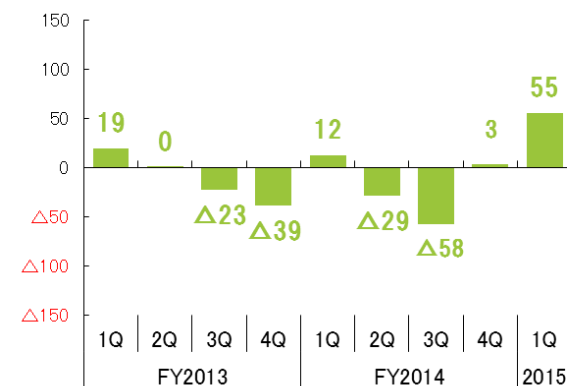
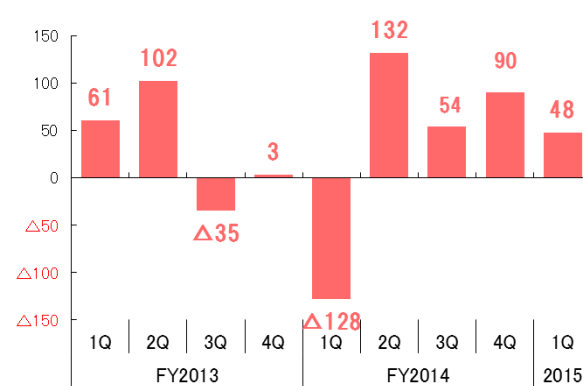
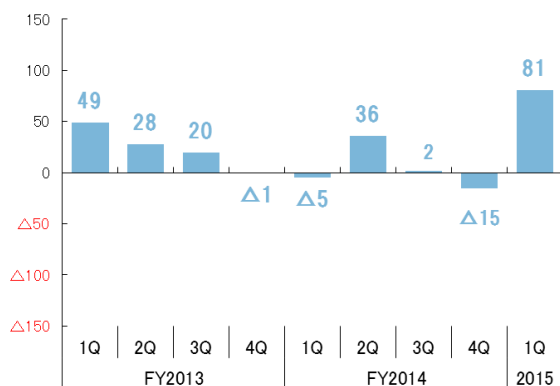
《リテール・ライセンス部門》

(単位:百万円)

売上高



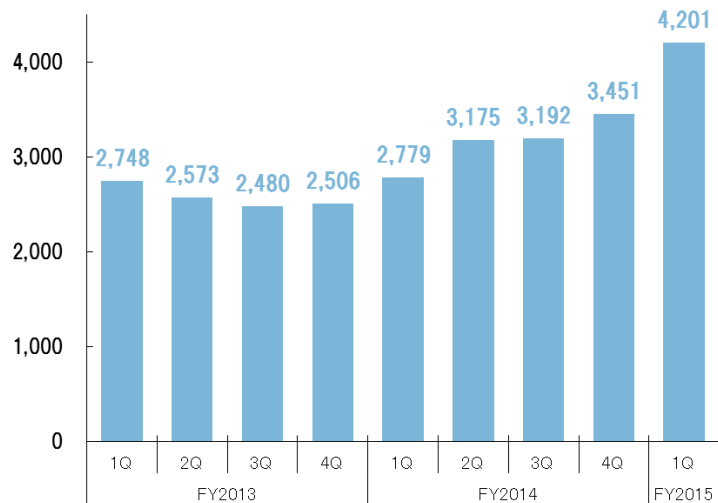
営業利益



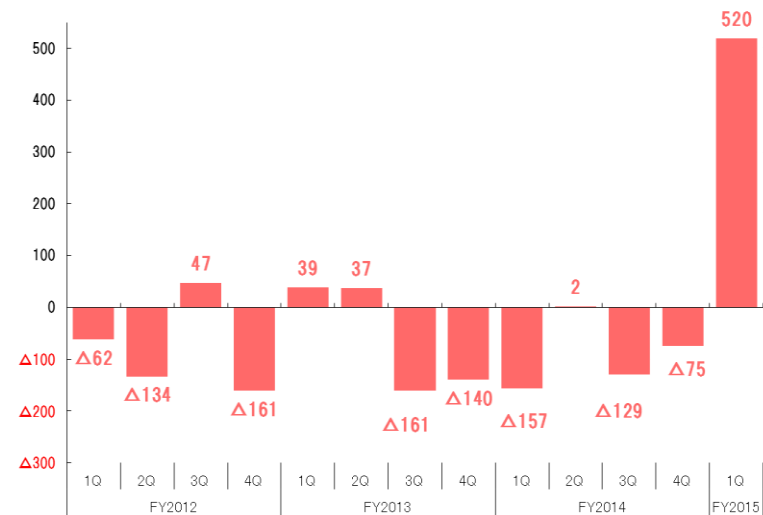
連結売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益の推移

(単位:百万円)

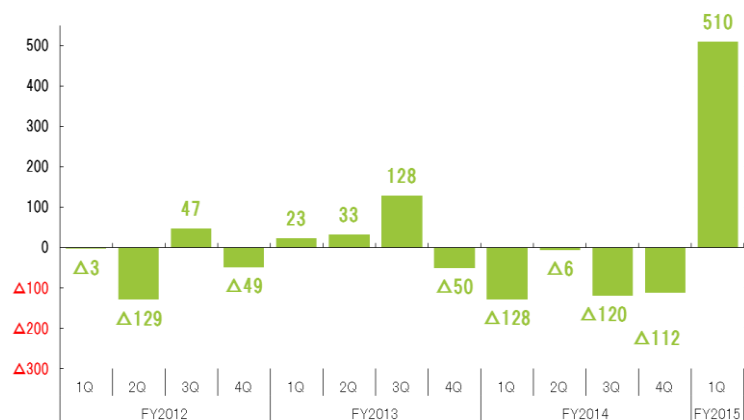
売上高



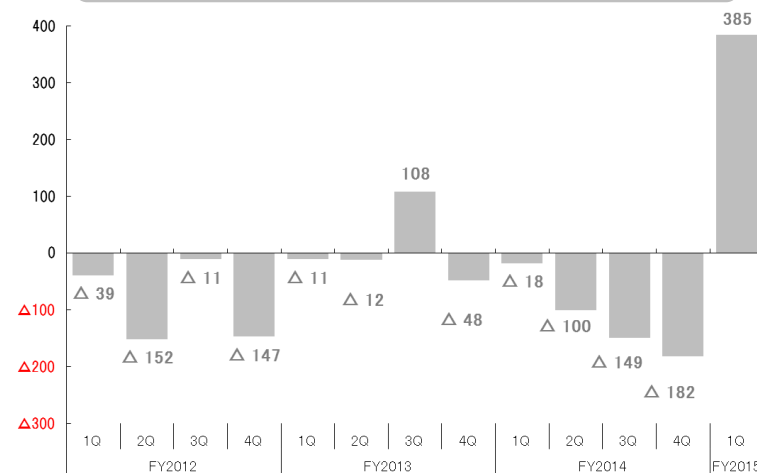
営業利益



経常利益

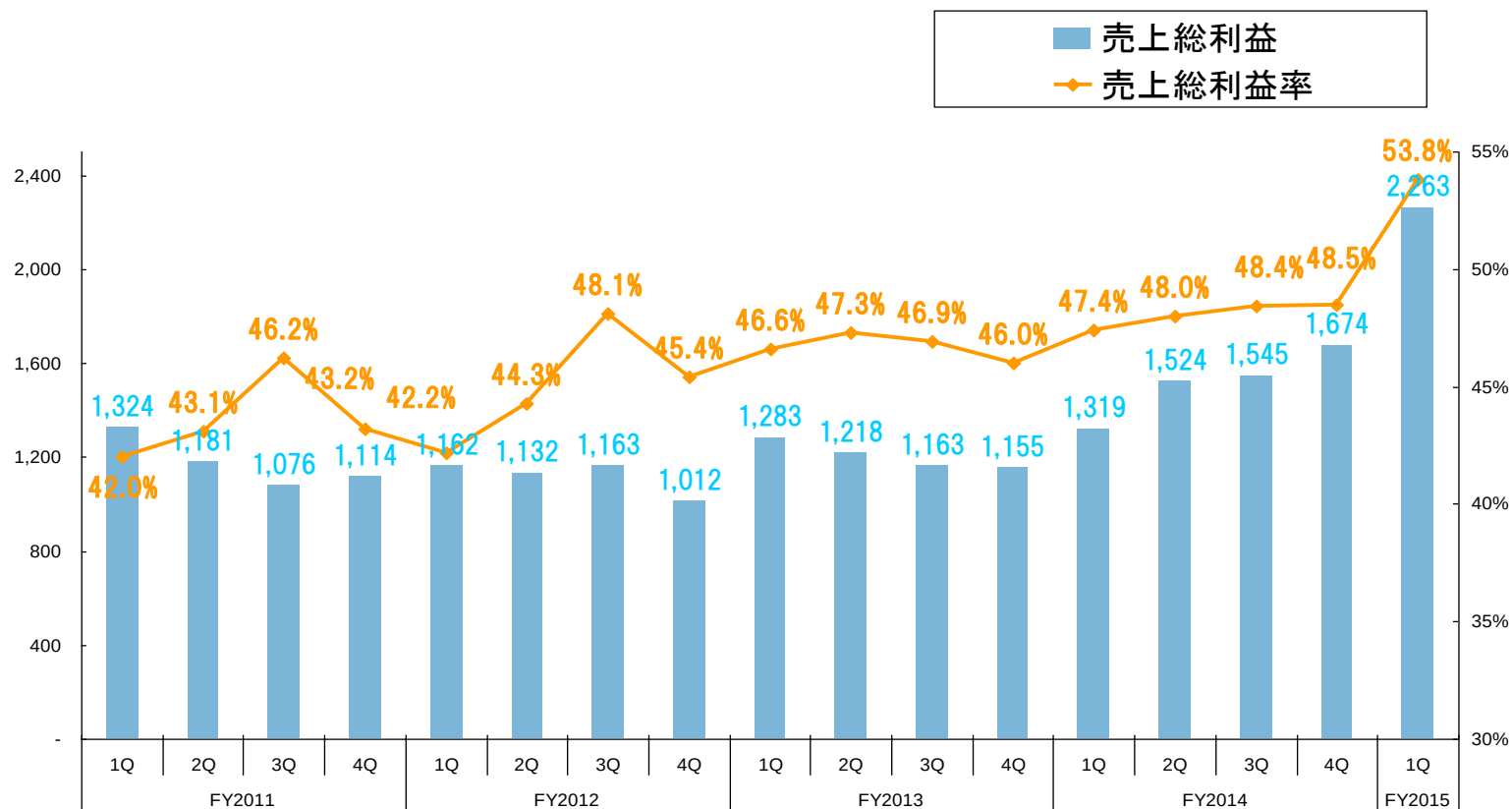


四半期純利益



5 連結売上総利益・売上総利益率の推移

売上総利益(百万円)



売上総利益率

グループ各社の事業概要

連結子会社

	転送コム	海外居住者向けに、日本の商品を海外発送代行するサービスを展開。現段階では、日本語・英語・中国語・韓国語に対応。日本語が読めないユーザー向けに代理購入サービス「Buyee」も展開。
	ショップエアライン	世界最大のオークションサイトeBayとの提携により、世界中の商品を日本にしながら購入できる「セカイモン」を運営。
	デファクトスタンダード	ブランド、時計、アパレル、アクセサリなどを、お客様からネットを通じて買取り、メンテナンス後、ネットオークション等のチャネルを通じてセカンダリー販売。CtoBtoCモデル。
	モノセンス	タレントのライセンスを用いた「商品企画」「商品プロモーション」「販路・流通の拡大」をサポートするサービスを提供。アーティストグッズの販売サイトも展開。
	ネットプライス	お客様・パートナーと「いいことおしえあう」ネットショッピングサイト「ネットプライス」を運営。
	BEENOS Asia	新興国市場への投資及び統括の拠点とするシンガポール現地法人。
	BEENOS Partners	米国のスタートアップ企業に対する投資事業を展開。

持分法適用会社

	オープンネットワークラボ	世界進出を視野に入れグローバルに活躍することを目標にインターネットを利用したビジネスでの起業を志すエンジニアや起業家を育成・支援。
--	--------------	---

主な海外の出資先

	Tokopedia	インドネシアにおけるオンラインマーケットプレイス事業。		Ilyzi Payments	トルコにおけるオンライン決済サービス事業。
	Midtrans	インドネシアにおけるオンライン決済サービス事業。		Ayannah	フィリピンにおけるオンライン送金サービス事業。
	ShopClues	インドにおけるオンラインマーケットプレイス事業。		Nearex	アフリカ諸国におけるモバイルマネー事業。
	Citrus Pay	インドにおけるオンライン決済サービス事業。		Sendo	ベトナムにおけるオンラインマーケットプレイス事業。
	KartRocket	インドにおけるオンラインストアソリューション。		Paynalytics	フィリピンにおけるオンライン決済プラットフォーム事業。
	Akakce	トルコにおける価格比較サービス事業。			